



# 今月のお知らせ

感染症や気象状況によっては、事業を変更する場合があります。ご了承ください。

## 健康サロン

日時：8月 5 日 (火) 13時00分～  
19日 (火) 13時00分～  
開始時間が早くなりました ご注意ください  
場所：さわやか人権文化センター  
内容：健康マージャン  
～賭けない・飲まない・吸わないをモットーに  
仲間づくり・健康づくりを実現しましょう～

## ペン習字教室

日時：8月18日 (月) 13時30分～  
場所：さわやか人権文化センター  
内容：「絵手紙」「実用的な書」  
～いつでも、どこでも、  
誰でも、楽しめること～



## さわやかサロン

日時：8月20日 (水) 13時30分～  
場所：さわやか人権文化センター  
内容：e-Sports  
太鼓の達人他を予定  
初心者・夏期休暇中の方の参加歓迎します

## みんなの楽級

日時：8月28日 (木) 13時30分～  
場所：さわやか人権文化センター  
内容：冷たいデザート  
「牛乳寒天」をつくろう！  
参加費：100円  
参加申込：8月25日 (月) まで  
若い人の参加、大歓迎です。

## 2026(令和8)年度 鳥取県育英奨学生(高等学校等奨学資金)の予約募集【概要】

県内に保護者の住所があり、経済的理由により修学が困難な高等学校等の進学者に育英奨学資金が無利子で貸与されます。この募集は、高校等進学後に奨学資金の貸与を希望する方に対する、進学前の予約奨学生(採用候補者)の募集です。(募集人数：250人予定)

貸与月額：		国公立の高等学校等		私立の高等学校等	
自宅通学	月額	18,000円	自宅通学	月額	30,000円
自宅外通学	月額	23,000円	自宅外通学	月額	35,000円

連帯保証人等：申込には連帯保証人および保証人が必要です。

申込締切：2025(令和7)年9月19日(金)

※選考結果は2025(令和7)年12月上旬に通知される予定です。

詳細の問い合わせ：

鳥取県教育委員会事務局 育英奨学室  
電話：0857-29-7145

## 困りごとはありませんか？ 人権が侵害されていませんか

悩みごと・生活に困っていることがありましたら、どんなことでも、1人で抱えこまずにご相談ください。

倉吉市 人権政策課  
さわやか人権文化センター

差別落書きや差別発言などに遭遇されましたら、倉吉市人権政策課もしくは人権文化センターにご相談ください。

電話 22-8130  
電話/FAX 28-2017

さわやか人権文化センターだより



センターだより「さわやか」に関するご意見・ご要望をおよせください。

2025年8月1日発行 No.370  
【発行所】さわやか人権文化センター  
【所在地】〒682-0602 倉吉市上米積 1074-1  
【電話兼ファックス】0858-28-2017  
【メールアドレス】sawayaka@ncn-k.net

# 部落解放研究倉吉市集会が開催されます！

本集会は、誰もが安心して暮らしていくことができるまちづくり、一人も取り残さないまちづくりを進めるため、参加者一人ひとりが自分達の思いと言葉で学習と実践を深め合う「市民集会」として開催します。ご参加よろしくお願いいたします。

日 時 2025(令和7)年8月24日(日) 10時～15時  
(受付開始：9時30分～)

9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	15:00
受付	全体会		休憩	分科会	
	開会行事	講演会			

会 場 エースパック未来中心、倉吉交流プラザ

研究主題 共生社会の実現と人権尊重のまちづくりをめざして  
～市民一人ひとりがつくる安心社会、人と人とのつながりを認め合い、支え合うことを考える～

講演会 演題：「いじめって何ですか？」  
～いじめに対する大人の認識を考える～  
講師：小森 美登里 さん (NPO法人 ジェントル ハート プロジェクト 理事)

分科会

分科会	分 野	会 場
1	外国にルーツを持つ人の人権	エースパック未来中心 小ホール
2	子どもの人権	エースパック未来中心 セミナールーム3
3	同和問題	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
4	障がいのある人の人権	倉吉交流プラザ 第1研修室
5	LGBTQの人権	エースパック未来中心 セミナールーム1

【事務局】 部落解放研究第53回倉吉市集会実行委員会事務局(倉吉市人権政策課内)  
倉吉市堺町2丁目253-1 電話：22-8130/Fax：22-8230  
E-mail：jinkenseisaku@city.kurayoshi.lg.jp

さわやか人権文化センター運営委員会を開催！

## 人権と福祉の拠点施設として

2025（令和7）年度のさわやか人権文化センター運営委員会を6月26日に開催しました。運営委員会の正副会長選出の後、2024（令和6）年度の事業実績と2025（令和7）年度の事業計画について話し合いました。事業では、「健康マージャン」や人権学習の「ヤングケアラー問題」の内容、小中学校の地区学習などについて意見交換しました。また、住民の高齢化に伴い、事業参加者の移動手段の確保が難しくなっていることについても検討しましたが、継続して方策を模索していくこととなりました。



さわやか人権文化センターは、地域住民をはじめ高城・北谷地区を中心に、一人ひとりを大切にする人権と福祉の拠点施設として、人権尊重のまちづくりの実現に資することを基本方針として事業を行います。たくさんの皆様に出かけていただくだけでなく、ご意見、ご要望をお寄せください。

### 2園合同保育園交流

## 「ネパールってどんなところ？」

7月10日に高城保育園・北谷保育園2園合同交流会を開催しました。講師に北谷保育園職員 藪本ティルさんをお迎えし、「ネパール」についてお話をしていただきました。

「ネパールって日本と近い?」「どんなものを食べてるの?」「なにをして遊ぶの?」。世界一高い山「エベレスト」。写真で見るエベレストの美しさに「わーきれい!」と歓声があがり、「ご飯はカレーだよ!でもネパールの人は手でたべます」との紹介に、「えー!箸つかわないの?」「熱くないの?」とのギモンの声もあり…。スライドを通して初めて知ること・見ることに興味津々の子どもたち。

ネパールの遊びに挑戦してみよう!ということで、輪ゴムで作るボール「チュンギ」を作りました。約300本の輪ゴムをリングに通す作業…すべて通ると「チュンギ」の完成!!

自分だけのおもちゃができ、みんなが楽しく遊びました。ティルさんのリフティングに目が点の子どもたち…。なんでも挑戦している姿がかっこよく、失敗しても励まし合う姿など、思いやりのある場面にほっこりしました。



# 戦後80年 今あらためて考える

今年には1926（昭和元）年から数えると100年目、そして戦後80年。この間、いろいろな人権にかかわる出来事が起きています。

80年前、日本は戦争の真っただ中でした。広島、長崎への原爆投下。そして、沖縄の民間人を巻き込んだ地上の戦い。1931（昭和6）年の満州事変から始まった戦いで、第二次世界大戦が終わる1945（昭和20）年8月まで、14年もの長い間、多くの尊い命が奪われました。



また、2022（令和4）年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻は3年を経過し、双方の死者は12万人を超えています。戦争では、命だけでなく、自由や平等、教育などをはじめ、基本的人権も保障されません。こうして考えると、戦争は「最大の人権侵害」です。

日本は戦後80年を迎え、戦争の苦しみや悲しみを伝える人たちも高齢化が進み、平和の大切さを伝えることが難しくなっています。8月15日を終戦の日と考えるだけでなく、これからも平和が続くために「二度と同じ過ちを繰り返してはいけない」と考える日にしたいものです。

### ◆1945年8月6日・8月9日 世界初の原子爆弾 広島・長崎に投下

#### 「広島原爆」

1945年8月6日 午前8時15分、人類初の原子爆弾が広島に投下されました。

灼熱の火球を作り、600m上空で炸裂し、死者約14万人(その年の12月まで)と推定されます。

#### 「長崎原爆」

1945年8月9日 午前11時2分。広島原爆投下から3日後、同じ原子爆弾が投下されました。

すさまじい爆風が街をおそい、爆心地は現在の平和公園上空で、一瞬のうちに約7万4千人の命が奪われ、長崎市の36%が全焼しました。

#### ◆放射線の怖さ

原子爆弾の怖いところは、通常の爆弾では発生しない大量の放射線が放出されることです。放射線は体の奥まで入り込み、細胞や造血機能を破壊してしまいます。

1946年ごろからは熱傷の後にできるケロイド、1950年ごろからは白血病や悪性腫瘍の患者が増えてきました。戦後80年経った今でも原爆の後遺症と闘っている人もいます。核兵器のない社会をめざしましょう。

